

旬な現場 ～女性技術者の紹介～

平成26年度 木曽川鍋田上水門改築工事

発注者：木曽川下流河川事務所

受注者：戸田建設（株）

木曽川下流河川事務所 弥富出張所 小畑 敏子（平成8年入省）



仮水門の動作確認

○仕事の内容

平成27年4月から本工事の監督に携わっています。

工事の進捗状況の確認調整や、設計図書に示される品質や出来型を満足しているのか確認を行っています。

この工事では、堤防道路や航路を切り回し、通行を確保しながら工事を進めています。現場では、様々なご意見・ご要望を受けます。

しかし、施工業者の努力と、出張所長を始め事務所の方々問題解決に向けてご尽力下さるおかげで、完成に向け工事が進んでいます。

○きっかけ

土木の道へ進んだきっかけは、モノ作りと自然環境との折り合いをどのように付けていくことが出来るのだろうと思ったことでした。

その思いが現実となったのは、今から8年程前、「魚道」や「子供の水辺事業」の設計積算に携わった時です。当時は、大学の先生や委員会のご意見を汲み、良い方法と考えて設計しました。

しかし、月日が過ぎてみると、「魚道」では、地域住民の方から魚が遡上しないとの声が上がったり、「子供の水辺事業」では、堤防を引いて子供が入りやすいような水辺空間を作ったのですが、堆砂が進んで毎年土砂を取り除く作業が必要になっています。

川はいろいろな要因を含んで成り立っているもので、作った後どうなるかを想像することは難しいのですが、知識や経験を積み重ねて、よりよいモノを作って行けたらと思います。

○働いていて感じること

一児の母でもある私は、子供を保育園へ送るために勤務時間をずらして働いています。中部地方整備局は、出産育児の休暇や子供が病気の時の休暇など制度が整っているため、休みが取りやすいように思います。

制度だけでなく、周囲の理解があるため、働きながら子育てをするには、良い環境だと感じています。



施工中の写真（H27.7時点）